

ISSN 1345-4889

2019 年度

総合知学会誌

Journal of the Society of Multi-Disciplinary Knowledge

Vol.18,2019

統一テーマ コロナ禍

ISSN 1345-4889

## 巻頭言

コロナ禍の到来を迎えて

小松昭英

この春、コロナ禍が全世界を襲い、この秋には感染者が5千万人を超え、感染死亡者も百万人を超える勢いで、何時終息するか見通せない状況である。幸い何故か我が国では十万人を超え死亡者も二千人を超えようとしているが、例外的と言えるほど低位に収まっている。

そして、その感染の程度はさておき、世界中が予告されていたデジタル化時代が、皮肉にも、このコロナ禍の到来により、一気に実現されてしまった。そして、いわゆる通勤時代の終焉が、一時的なのか長期的なのかはさておき、各種の商店、飲食店あるいは宿泊施設に存亡の危機を迎えさせている。

さらに、これらの消費産業の影響が生産産業にも及び、世界中のサプライチェーン、あるいはサプライネットワークというべきかもしれないが、を分断しつつある。そして、この窮状を打破すべく、各国政府が消費者は勿論のこと企業にも救済の手を伸ばしつつある。しかし、それらはとりあえずの試行錯誤に過ぎず、何らかの見通しがあつてのことではない。

このような社会情勢のもと、まず、何故このような感染症が出現するのかと、ウィキペディアで調べると、「農業開発にともなう土地開発、環境破壊、都市化・工業化もふくむ環境変化によって、こうした新興感染症が今後も現れるであろうことが予想され、また、再興感染症もふくめて感染症を撲滅することは難しいという見通しが立てられている。」と書かれている。

どうも、何はともあれ、常時マスクをして、冷静にやり過ごすしかないようである。定例会議で再会すること期待しつつ、オンライン会議で顔を合わせて団欒しつつ、我々にできること、すなわち色々な観点から記録を後世に残すしかないようである。

ISSN 1345-4889

ISSN 1345-4889

2019 年度

## 総合知学会誌

Journal of the Society of Multi-Disciplinary Knowledge

Vol.18,2019

### 統一テーマ コロナ禍

#### 巻頭言 Opening Article

コロナ禍の到来を迎えて 小松昭英

#### 提言 Propositions

原発の将来像『原発廃炉神社』から『原発古墳公園』へ 与志耶劫紀 1

#### 論文 Papers

免疫及び抗体を考慮したエージェントベース感染モデル 荻林成章 33

システム思考における目的論理構造と社会倫理について X

～コロナ疫学の化学反応動力的モデル解釈と解析法の展開～ 荒井康全 63

コロナ禍の衝撃 小松昭英 90

戦略不在の日本 上草貞雄 101

新しいコモンズとは！ 松田 順 143

#### 研究ノート Shorter Communications

新しい日本の方向とカタチ～文明の相転移と潤滑油国家論 神出瑞穂 175

#### 書評 Book Reviews

小熊英二：日本社会のしくみ 松田 順 201

編集後記

2019 年度活動報告

投稿論文規定

会則

ISSN 1345-4889